

コースコード : CI-DCCUCS

税抜価格 : 360,000円

日数 : 3日間

前提条件

このコースを受講する前に受講者が習得しておく必要のある知識およびスキルは次のとおりです。

- ・サーバに関する一般的な知識・ルーティングとスイッチングの知識・SANの知識・サーバ仮想化の知識

下記のコースを受講済み、または同等の知識を有する方

[CCNA \(Implementing and Administering Cisco Solutions\)](#)

[DCFNDU \(Understanding Cisco Data Center Foundations\)](#)

[DCIUCS \(Introducing Cisco Unified Computing System\)](#)

受講対象者

- ・Cisco UCSの設計者
- ・Cisco UCSの管理者
- ・Cisco UCSに関する業務に携わるエンジニア

コース概要

このコースはCisco UCSの設計、実装、管理を行うデータセンター技術者のために作られています。このコースでは、Cisco UCSのSAN接続の設定、Adapter FEX、高度な管理機能などについて講義とラボ演習を通じて学習します。また、オーケストレーションソフトウェアを使用したCisco UCSの管理方法についても学習します。

目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

- ・Cisco UCSのSAN接続について説明する
- ・Cisco UCSのサービスプロファイルの各種ポリシーについて説明する
- ・Cisco Adapter FEXとSR-IOV (Single Root I/O

Virtualization) について説明する

- ・Cisco UCSのRBACを設定する
- ・Cisco UCS Managerの外部認証を設定する



- ・ Cisco UCS Managerのキー管理を設定する
- ・ Cisco UCS Directorについて説明する
- ・ Cisco Intersightについて説明する
- ・ Cisco UCS Managerのスク립ティングオプションについて説明する
- ・ Cisco UCS Managerのモニタリングを設定する

アウトライン

- ・ Cisco UCSのSAN接続
- ラボ 1: デバイスエイリアスの設定
- ラボ 2: ゾーニングの設定
- ラボ 3: VSANの設定
- ラボ 4: ユニファイドポートの設定
- ラボ 5: FCoEを経由したFC LUNからVMware ESXiを起動
- ・ Cisco UCSのサービスプロファイルの各種ポリシー
 - ・ Cisco Adapter FEXとSR-IOV (Single Root I/O Virtualization)
 - ・ Cisco UCSのRBAC
- ラボ 6: RBACの設定
- ・ 外部認証プロバイダ
- ラボ 7: LDAPを使用したCisco UCS Managerの認証の設定
- ・ Cisco UCS Managerのキー管理
- ラボ 8: Cisco UCS Managerのトラストポイントとキーリングの設定
- ・ Cisco UCS Director
 - ・ Cisco UCS Intersight
 - ・ Cisco UCS Managerのスク립ティングオプション
- ラボ 9: スクリプティングを使用したCisco UCS Managerの設定
- ・ Cisco UCS Managerのモニタリング
- ラボ 10: SyslogとCall Homeの設定